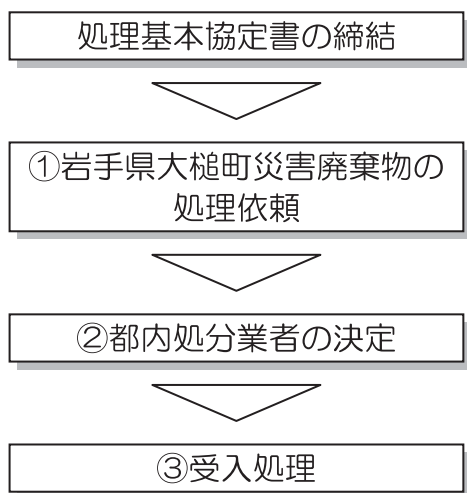


(3) 岩手県大槌町混合廃棄物（建設混合廃棄物）

ア 受入処理までの経過概要



- ① 平成 23 年 9 月 30 日に締結した処理基本協定に基づき、平成 24 年 6 月 12 日に、岩手県から東京都及び公社に対して、大槌町の混合廃棄物（建設混合廃棄物）21,000 トンの処理依頼があった。
- ② 岩手県からの依頼に基づき、都内処分業者の募集を実施。同時期に依頼を受けていた、釜石市及び陸前高田市の依頼量を勘案して処分業者を決定。
- ③ 平成 24 年 7 月 17 日に大槌町の混合廃棄物（建設混合廃棄物）の搬出を開始（都内搬入は 7 月 18 日）。平成 25 年 4 月 27 日の最終搬入までに、約 21,433 トンを受入処理した。

イ 岩手県からの処理依頼概要（平成 24 年 6 月 12 日付）

大槌町では、近隣県の処理施設の受入能力に限界があり、県内処理施設だけでは処理できない状況であった。そのため、岩手県は、平成 24 年 6 月 12 日に、東京都に対し処理依頼を行った。

■ 岩手県からの処理依頼概要

搬出場所	岩手県大槌町大槌地先（大槌地区二次仮置場）						
災害廃棄物の種類、量	混合廃棄物（建設混合廃棄物）			約 21,000 トン ⇒約 23,700 トン※ ¹			
搬出期間（予定）	平成 24 年 7 月から平成 25 年 3 月まで ⇒平成 24 年 7 月から平成 25 年 4 月まで※ ²						
運搬方法	鉄道貨物輸送						
仮置場及び破碎選別の状況	大槌地区二次仮置場（岩手県大槌町地先）から、建設混合廃棄物を合計約 21,000 トン搬出する。なお、仮置場にある混合廃棄物を危険物及び有害性（アスベスト含有物等）のものを除去する粗選別を行い、選別した建設混合廃棄物を搬出する。但し、破碎は行わない。						
放射能の状況	災害廃棄物	採取年月日		平成 24 年 5 月 8 日			
		放射能濃度		(¹³⁴ Cs + ¹³⁷ Cs) 43 Bq/kg			
	焼却灰	焼却施設		盛岡・紫波地区環境施設組合 (清掃センター)			
		施設概要		処理能力：160 t / 日（80 t × 2 炉） 処理方式：高圧ガス化直接溶融炉			
		混合燃焼率		約 8.4% (0.1 t（災害廃棄物）÷ 1.19 t)			
		採取年月日	混合燃焼時		通常時		
			平成 24 年 5 月 8 日		平成 23 年 12 月 5 日		
		放射能濃度		143 Bq/kg		187 Bq/kg	
	排ガス	放射能濃度	採取年月日	平成 24 年 5 月 8 日		平成 23 年 11 月 15 日	
			¹³⁴ Cs	(不検出) Bq/m ³		(不検出) Bq/m ³	
			¹³⁷ Cs	(不検出) Bq/m ³		(不検出) Bq/m ³	

※1 岩手県からの依頼内容変更（平成24年10月31日付）

※2 岩手県からの依頼内容変更（平成25年1月25日付）



大槌地区一次仮置場の状況（平成24年6月13日撮影）

ウ 処分業者の募集経過及び決定

（ア）決定日

平成24年7月から9月までの分：平成24年7月3日（火）決定

平成24年10月から12月までの分：平成24年9月19日（水）決定

平成25年1月から3月までの分：平成24年11月29日（木）決定

平成25年4月分：平成25年2月21日（木）決定

（イ）処分業者、処分場所及び処理量

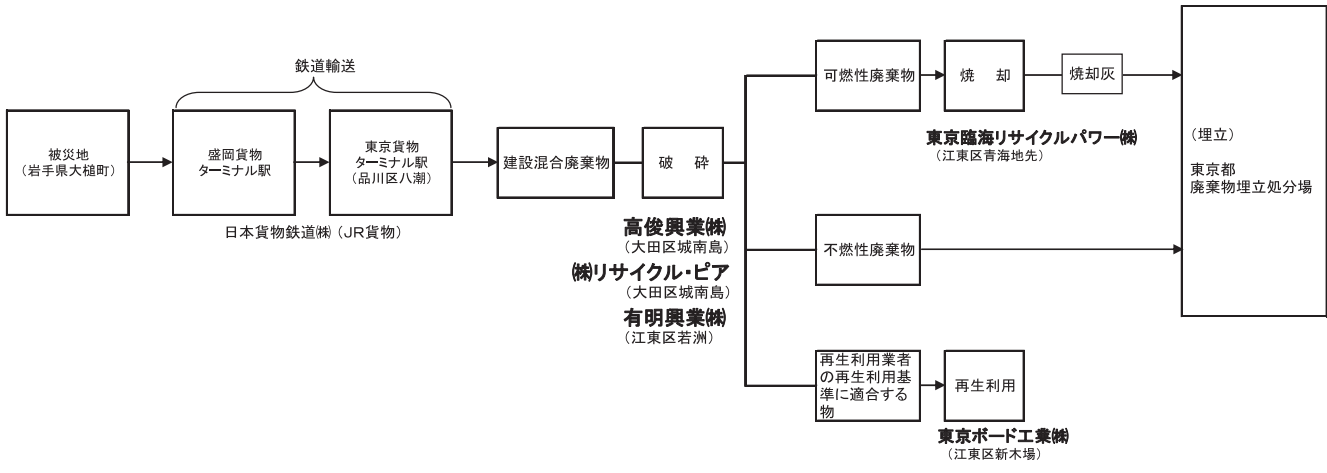
平成24年7月から平成25年4月までの処分業者は岩手県により次表の業者に決定された。

■ 処分業者別受入処理期間及び受入処理量等

事業者名称	施設名称	受入期間	受入処理量 [単位：ト]
株式会社 リサイクル・ピア	東京エコタウン工場 (大田区城南島 3-4-3)	平成24年7月～平成25年4月	12,513.51
有明興業株 式会社	若洲工場 (江東区若洲 2-8-25)	平成24年7月～平成25年4月	4,753.71
高俊興業株 式会社	東京臨海エコ・プラント (大田区城南島 3-2-15)	平成24年10月～平成25年4月	4,166.53
合計			21,433.75

※順不同

(ウ) 災害廃棄物処理の流れ



エ 災害廃棄物の受入実績

(ア) 受入期間と受入量

搬出期間：平成 24 年 7 月 17 日（火）から平成 25 年 4 月 25 日（木）まで
受入期間：平成 24 年 7 月 18 日（水）から平成 25 年 4 月 27 日（土）まで
受入実績：約 21,433 トン（12ft コンテナ 420 基、20ft コンテナ 2,507 基）

(イ) 環境測定結果

➤ 放射能測定

混合廃棄物の搬出時 3 回の空間線量率測定結果は、次のとおりいずれも基準値を超えることがなく、放射能の影響は確認されなかった。

■ 大槌町の空間線量率測定結果（平成 24 年 7 月～平成 25 年 4 月分）（単位：μSv/h）

	ストックヤード			コンテナ両側面
	空間線量率		遮蔽線量率	空間線量率
搬出基準	$A \leq 3 \times B$		$A \leq 0.01$	—
測定場所	測定ヤード (A)	バックグラウンド (B)	ストックヤード (A)	コンテナ両側面
測定結果	0.06～0.09	0.05～0.08	0.000～0.003	0.04～0.08 (平均値：0.06)

■ 大槌町建設混合廃棄物の放射能濃度（受入期間中毎月 1 回測定）

	木くず	廃プラスチック	紙くず	繊維くず	その他
放射能濃度 (Bq/kg)	ND	ND～93	ND	106～430	ND～55
遮蔽線量率 (μSv/h)	0.000～0.002	0.000～0.002	0.000～0.002	0.000～0.003	0.000～0.002

ND：検出下限値（40Bq/kg）未満

オ 受入成果

混合廃棄物（建設混合廃棄物）約 21,433 トンを受入処理することにより、大槌町の災害廃棄物のうち可燃物については、期限内の処理の目処がついた。

■ 大槌町災害廃棄物処理の推移

海岸にあった大槌地区一次仮置場（No. 12）に集積された瓦礫は、二次仮置場に搬出され建設混合廃棄物として東京都が受入処理を行ったことにより解消した。

受入処理前



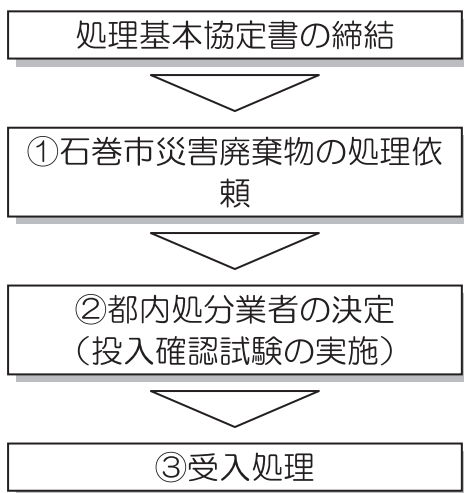
受入処理後



(4) 宮城県石巻市廃置、混合廃棄物（建設混合廃棄物）

<廃置について>

ア 受入処理までの経過概要



- ① 平成 23 年 11 月 24 日に締結した処理基本協定に基づき、平成 24 年 5 月 17 日に、宮城県から東京都及び公社に対して、石巻市の廃置 7,250 トンの処理依頼があった。
- ② 廃置の搬入は初めてであったため、廃置の処分に伴う焼却炉の投入口詰まりや発熱量の低下がないことを確認するために、廃置の投入確認試験を実施し、その結果を踏まえて、処分業者の募集及び決定を行った。
- ③ 平成 24 年 6 月 21 日に石巻市の廃置の搬出を開始(都内搬入は 6 月 25 日)、平成 24 年 11 月 29 日の最終搬入までに約 7,052 トンを受入処理した。

イ 宮城県からの処理依頼概要

石巻市は、一次仮置場に余裕がなく、被災した家屋等の解体が進んでいない状況であった。
 また、被災から一年以上経った廃置は、腐敗が進み火災の恐れがあるため、仮置場の高さ制限及び一山あたりの面積制限が設けられており、広大な敷地面積を占めていた。
 そのため、宮城県は、平成 24 年 5 月 17 日（木）に東京都に対し廃置の処理依頼を行った。

■ 宮城県からの処理依頼概要

搬出場所	宮城県石巻市雲雀野町（雲雀野埠頭仮置き場）		
災害廃棄物の対象、 種類及び量	石巻市内一次仮置き場（7 か所）の廃置※		
	廃置（繊維くず、廃プラスチック）	7,250 トン	
搬出期間（予定）	平成 24 年 6 月から 9 月まで ⇒平成 24 年 6 月から 11 月まで※		
運搬方法	鉄道貨物輸送		
仮置き場及び破碎選別の状況	雲雀野埠頭仮置き場（石巻市雲雀野）に、選別され保管している約 20,000m ³ （6,000 トン）の廃置について、積込み作業を行い搬出する。 また、その他の仮置き場 6 か所に保管している約 1,250 トンの廃置について、雲雀野埠頭仮置き場まで輸送して、同様に積込み作業を行い搬出する。		
放射能の状況	災害廃棄物	宮城県石巻市雲雀野仮置き場ほか 6 か所の廃置	
		採取年月日	平成 23 年 11 月 30 日～平成 24 年 4 月 27 日
		放射能濃度	(¹³⁴ Cs + ¹³⁷ Cs) 39.9 Bq/kg

※岩手県からの依頼内容変更（平成 24 年 8 月 23 日付）



石巻市雲雀野埠頭仮置き場の状況（平成 24 年 3 月 28 日撮影）

※ 石巻市内一次仮置き場（7 か所）の廃量について

	場所
1	雲雀野埠頭仮置き場（搬出場所）
2	桃生新小塚仮置き場
3	前谷地仮置き場
4	石巻広域クリーンセンター仮置き場
5	旧河北衛生センター仮置き場
6	宮城県水産公社仮置き場
7	山鳥駐車場仮置き場

ウ 処分業者の決定

（ア）決定日

平成 24 年 6 月から 9 月までの分：平成 24 年 6 月 18 日（月）決定

平成 24 年 10 月から 11 月までの分：平成 24 年 9 月 10 日（月）決定

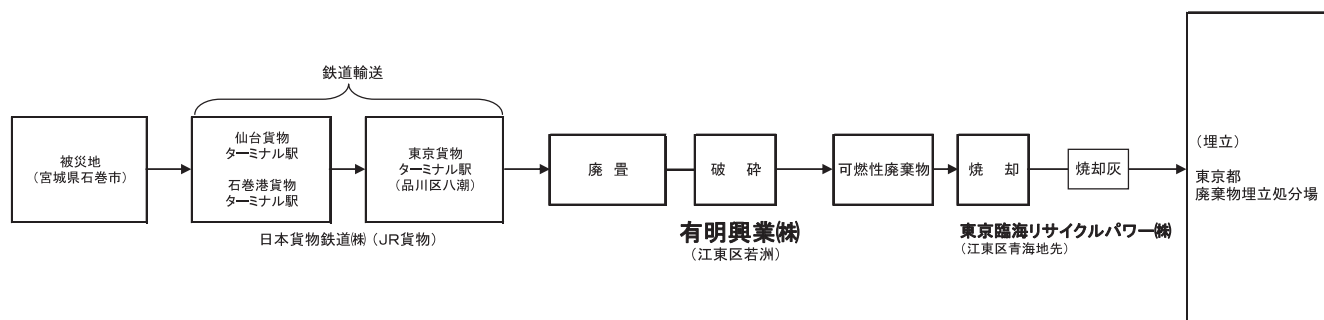
（イ）処分業者、処分場所及び処理量

平成 24 年 6 月から 11 月までの処分業者は宮城県により次表の業者に決定された。

■処分業者別受入処理期間及び受入処理量等

事業者名称	施設名称	受入期間	受入処理量 [単位：トン]
有明興業株式会社	若洲工場 (江東区若洲 2-8-25)	平成 24 年 7 月～平成 25 年 4 月	4,753.71

(ウ) 災害廃棄物処理の流れ



石巻市の災害廃棄物処理フロー（廃置）

エ 災害廃棄物の受入実績

(ア) 受入期間と受入量

搬出期間：平成 24 年 6 月 21 日（木）から平成 24 年 11 月 28 日（水）まで

受入期間：平成 24 年 6 月 25 日（月）から平成 24 年 11 月 29 日（木）まで

受入実績：約 7,052 トン（12ft コンテナ 1,616 基）

(イ) 環境測定結果

➤ 放射能測定

廃置の搬出時 3 回の空間線量率測定結果は、次のとおりいずれも基準値を超えることがなく、放射能の影響は確認されなかった。

■ 石巻市の空間線量率測定結果（平成 24 年 6 月～平成 24 年 11 月分）（単位： $\mu\text{Sv/h}$ ）

	ストックヤード			コンテナ両側面
	空間線量率		遮蔽線量率	空間線量率
搬出基準	$A \leq 3 \times B$		$A \leq 0.01$	—
測定場所	測定ヤード (A)	バックグラウンド (B)	ストックヤード (A)	コンテナ両側面
測定結果	0.04～0.07	0.05～0.07	0.000～0.003	0.03～0.06 (平均値：0.04)

■ 石巻市廃置の放射能濃度（受入期間中毎月 1 回測定）

	繊維くず	その他
放射能濃度 (Bq/kg)	48～79	11.4～81.2
遮蔽線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	0.000～0.003	0.001～0.002

オ 受入成果

廃量約 7,052 トンを受入処理することにより、市内のリサイクル不可能な廃量について、全ての処理を終える見通しがついた。

■ 石巻市災害廃棄物処理の推移

石巻市雲雀野埠頭一次仮置場で多くの面積を占有し保管していた廃量が搬出されたことによって、一次仮置場のスペースが確保できて、他の災害廃棄物や処理後物の保管ヤードが整備できるようになった。

受入処理前

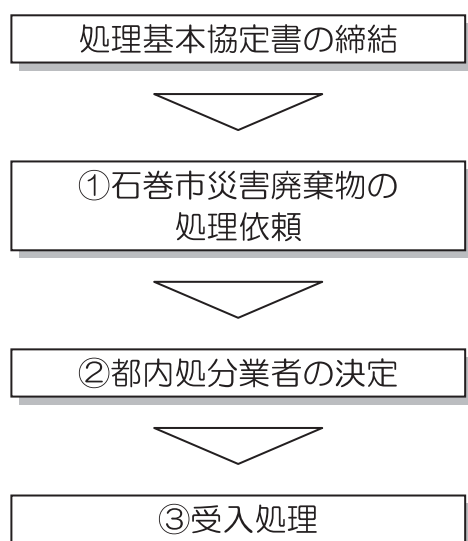


受入処理後



＜混合廃棄物（建設混合廃棄物）について＞

ア 受入処理までの経過概要



- ① 平成 23 年 11 月 24 日に締結した処理基本協定に基づき、平成 24 年 7 月 20 日に、宮城県から東京都及び公社に対して、石巻市の混合廃棄物（建設混合廃棄物）25,000 トンの処理依頼があった。
- ② 宮城県からの依頼に基づき、都内処分業者の募集を実施。同時期に依頼を受けていた、石巻市の廃量の依頼量を勘案して処分業者を決定した。
- ③ 平成 24 年 8 月 20 日に石巻市の混合廃棄物（建設混合廃棄物）の搬出を開始（都内搬入は 8 月 22 日）、平成 25 年 3 月 28 日の最終搬入までに、約 23,360 トンを受入処理した。

イ 宮城県からの処理依頼概要

石巻市では、破砕選別プラント及び仮設焼却炉が平成 24 年 8 月から本格稼動する予定であるが、一部の仮置場には、発酵が進み火災の危険が高まっているものなどがあり、早急に処理を行う必要があった。そのため、宮城県は、平成 24 年 7 月 20 日に、東京都に対し処理依頼を行った。

■ 宮城県からの処理依頼概要

搬出場所	宮城県石巻市雲雀野町（雲雀野埠頭二次仮置き場）		
災害廃棄物の対象、種類及び量	混合廃棄物 （建設混合廃棄物）	約 25,000 トン	
搬出期間（予定）	平成 24 年 8 月から平成 25 年 3 月まで		
運搬方法	鉄道貨物輸送		
仮置場及び破砕選別の状況	石巻市の一次仮置き場で貯留している混合廃棄物のうち、コン殻、アス殻、危険物及び処理困難物等を取り除く粗選別処理を行った混合廃棄物を搬出するものとする。		
放射能の状況	災害廃棄物 （可燃物）	採取場所	雲雀野埠頭（二次仮置き場）
		採取日	平成 24 年 7 月 17 日
		放射能濃度	$(^{134}\text{Cs} + ^{137}\text{Cs})$ 56 Bq/kg $\left[\begin{array}{l} \text{検出下限値 } ^{134}\text{Cs} \quad 10 \text{ Bq/kg} \\ \text{検出下限値 } ^{137}\text{Cs} \quad 11 \text{ Bq/kg} \end{array} \right]$



石巻市雲雀野埠頭仮置き場の状況（平成 24 年 7 月 19 日撮影）

ウ 処分業者の募集経過及び決定

（ア）決定日

平成 24 年 8 月から 9 月分：平成 24 年 8 月 10 日（金）決定

平成 24 年 10 月から 12 月分：平成 24 年 9 月 19 日（水）決定

平成 25 年 1 月から 3 月分：平成 24 年 11 月 29 日（木）決定

（イ）処分業者、処分場所及び処理量

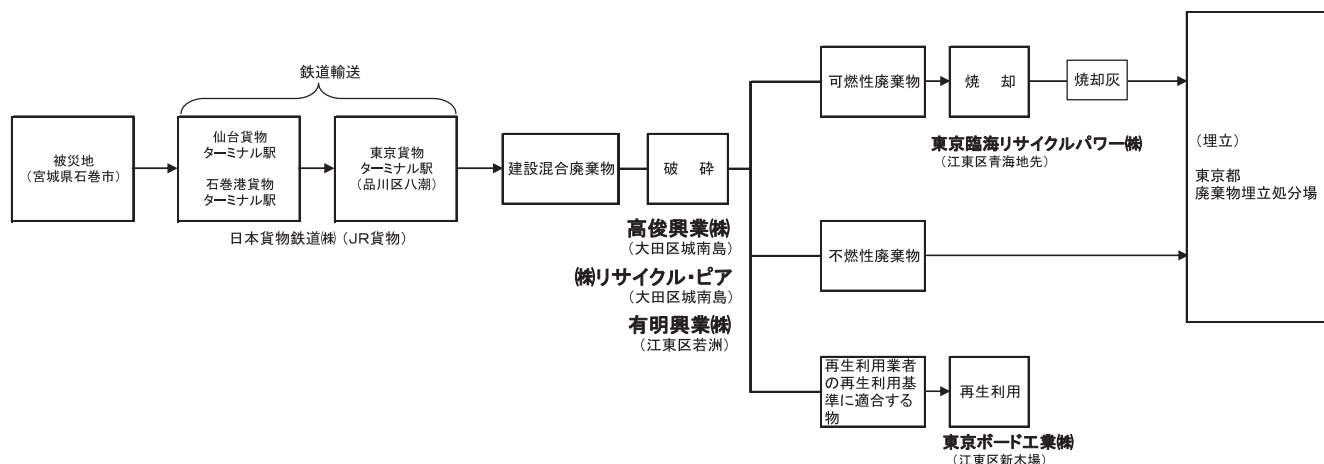
平成 24 年 8 月から平成 25 年 3 月までの処分業者は宮城県により次の業者に決定された。

■ 処分業者別受入処理期間及び受入処理量等

事業者名称	施設名称	受入期間	受入処理量 [単位：トン]
株式会社 リサイクル・ピア	東京エコタウン工場 (大田区城南島 3-4-3)	平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月	9,918.79
高俊興業株 式会社	東京臨海エコ・プラント (大田区城南島 3-2-15)	平成 24 年 8 月～平成 25 年 3 月	7,319.84
有明興業株 式会社	若洲工場 (江東区若洲 2-8-25)	平成 24 年 8 月～平成 25 年 3 月	6,121.47
合計			23,360.10

※順不同

(ウ) 災害廃棄物処理の流れ



エ 災害廃棄物の受入実績

(ア) 受入期間と受入量

搬出期間：平成 24 年 8 月 20 日（月）から平成 25 年 3 月 26 日（火）まで

受入期間：平成 24 年 8 月 22 日（水）から平成 25 年 3 月 28 日（木）まで

受入実績：約 23,360 トン（12ft コンテナ 5,988 基）

(イ) 環境測定結果

➤ 放射能測定

混合廃棄物の搬出時 3 回の空間線量率測定結果は、次のとおりいずれも基準値を超えることがなく、放射能の影響は確認されなかった。

■ 石巻市の空間線量率測定結果（平成 24 年 8 月～平成 25 年 3 月分）（単位： $\mu\text{Sv/h}$ ）

	ストックヤード			コンテナ両側面
	空間線量率		遮蔽線量率	空間線量率
搬出基準	$A \leq 3 \times B$		$A \leq 0.01$	—
測定場所	測定ヤード (A)	バックグラウンド (B)	ストックヤード (A)	コンテナ両側面
測定結果	0.04～0.07	0.04～0.07	0.000～0.003	0.03～0.07 (平均値：0.04)

■ 石巻市建設混合廃棄物の放射能濃度（受入期間中毎月 1 回測定）

	木くず	廃プラスチック	紙くず	繊維くず	その他
放射能濃度 (Bq/kg)	ND～34.1	8.4～99.4	ND～56.8	24.7～271.7	5.1～227.5
遮蔽線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	0.000～0.002	0.000～0.002	0.000～0.002	0.000～0.004	0.000～0.004

ND：検出下限値未満

オ 受入成果

混合廃棄物（建設混合廃棄物）約 23,360 トンを受入処理することにより、残りの石巻市内の混合廃棄物については、平成 26 年 3 月までに県内処理のみで完了する見通しが立った。

■ 石巻市災害廃棄物処理の推移

石巻市一次仮置場でうず高く集積した瓦礫の山が解消され、自然発火による火災等の危険性が回避できた。

受入処理前



受入処理後

